

3年ぶりの海外出張で思ったこと

修琴堂大塚医院 渡辺 賢治

昨年フランス、スイス、台湾へと渡航した。考えてみると、新型コロナウイルス感染症が発生した2020年から一度も海外出張をしていなかった。

19年は9月にドイツでの学会、10月はカナダでWHO国際疾病分類ファミリー年次会議、11月は台湾の中国医薬大学訪問と続いたが、それを最後に3年間海外に出ていなかったのである。

コロナ禍に突入し、世界は一変した。オンラインの会議が普及し、日本に居ながらにして、どこに問わずに会議に出席することが可能になった。

ジュネーブでWHO職員と打ち合わせをしたパリやレストランは、密な場所でもマスクなしで大の兆しが見え始めていた頃である。しかし、誰も

それを話題にする人さえいない。一度帰国して、今度は台湾に行った。こちらはマスク着用が厳守である。道行く人も全員マスクをしている。ヨーロッパとは対象的である。台湾は衛生福利部と外交部

マスクなしのフランス・スイスと

マスク厳守の台湾

世界を席卷した台湾

新型コロナウイルスに対する漢方治療の利点

原料生薬の調達確保されなければ漢方の持続可能性はない

すっかり出不精になった22年になり、ようやく世の中が動き出した。もちろん、それでも海外出張は可能ではあったが、隔離期間が大きなハードルとなった。昨年9月7日以降は、3回以上

上のワクチン接種証明書があれば、帰国前72時間以内のPCR陰性証明も自宅隔離も不要になった。そこで、10月にフランスのグルノーブル大学訪問の後、ジュネーブのWHO-FIC会議に参加

台湾は03年のSARSを経験していることから、20年の初めから中医薬の開発に取りかかり、「Respire Aid」台湾清冠一号を開発した。国家中医薬研究所の蘇奕(そえき)彰(しょう)所長が陣頭指揮を執り、基礎研究、動物実験その効果を確認して、台湾衛生福利部の承認を得た。

筆者は20年4月に第一号患者を経験してから、積極的に新型コロナウイルス感染症患者さんの治療に当たってきた。変異前からアルファ株までは咽喉頭症状がないままに、いきなり肺炎になるケースが多く、診療するのは一例一例真剣勝負で、毎日電話かメールで病状を確認していたので、神経をすり減らした。潜伏期間が長く、症状

と、生体の反応の仕方も変化したが、漢方治療は生体側の反応を見て治療薬を決めるので、傷寒論の原則はそのままである。それが感染症に対する漢方治療の利点である。筆者は、新型コロナウイルス感染症に対する治療経験をもちに「漢方で感染症からカラダを守る」という本を上梓した。その本の中で漢方の利点として、①生体防御能を引き出すのが主であり、ウイルスが変異しても治療原則は変わらない②耐性ウイルスを作らない③治療を経る必要がないので、新興感染症に対してワクチン開発までの時間を稼げる④軽症から中等症の段階で漢方治療することで、重症化を防ぎ、医療崩壊を防ぐの4点を挙げた。



WHO国際疾病分類ファミリー会議



台湾のGlobal Forum for Health and Welfare会議

ところが日本では、デルタ株までは大々的に漢方薬が使われることはなかった。それが一転したのが、オミクロン株の流行が始まってからである。重症化が減ったことに加え、期待された国産医薬品であるフアビラビルなどの承認が見送られたことが大きかった。代わりに漢方薬が使われるようになったのである。

漢方界にとっては非常に喜ばしいことであると同時に、深刻な供給不足に陥る事態となった。昨年8月に製薬企業から出荷制限の通告が来て、現場は大混乱した。台湾出張時に、台湾も同様の状況であることを知った。前述した清冠一号が世界中で売れて生産が追いつかず、昨年5月には出荷制限をしたとい

少の一途を辿っている。22年9月30日の「薬事日報」本紙には「薬用作物国内栽培が停滞」漢方薬の安定供給に暗雲」という見出しの記事が掲載された。それによると、薬用作物の栽培面積は12年の634ヘクタールに比し、20年は494ヘクタールに減少。また、栽培農家も17年に2048戸あったのが、20年には1542戸と減少しているとのことである。昭和の漢方の泰斗、大塚敬節が、1979年の第30回日本東洋医学学会術総会で述べた「漢方は盛んになったけれど、薬がなくなると漢方は減ってしまった」ということがないようにしてはならない」という言葉が重くのしかかる。感染症対策は国ごとに大きく異なる。アジアの中でも大きな違いがあり、次なるパンデミックに備えて、漢方がどう効果的に使われるべきか、いろいろと思いを馳せた海外出張であった。

Advertisement for GLAMOUROUS BUTTERFLY products. Includes text: 'HAPPY NEW YEAR 2023', '2人がもっとラブになる', 'うるツヤゼリー', 'New! べもカラダを...', and product images. Website: https://www.jex-inc.co.jp/ and https://chuchubaby.jp/